

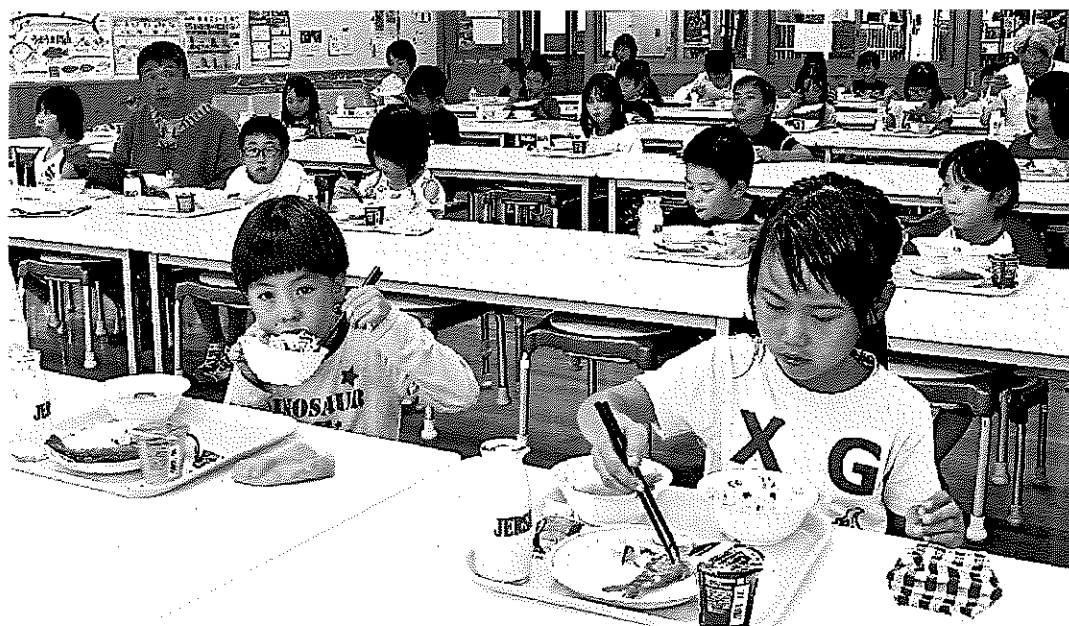
真庭の食材おいしい

市教委 19小中で地元産給食

真庭市内の学校給食 委が昨年度から開始。雨で一斉休校した影響をオール地元産食材で 前日に全26小中学校が、19小中学校での取
行う事業「真庭食材の 行う予定だったが、大り組みとなった。

日」が15日、大半の小
中学校で行われた。

地元の味覚を知り、
郷土愛を育もうと市教



食材に真庭産を使った給食を食べる八束小児童ら

八束小（蒜山下見、117人）の献立は、ひるぜん大根の菜めしやニジマスの甘辛揚げ、ジャージー牛乳などほぼ蒜山産。マスに勢いよくかぶりつく子もいた。3年西田光一君（8）は「漬物のキュウリが甘くておいしかった。真庭は食材に恵まれていると思う」と話した。新型コロナウイルスの感染予防として席を1人分空け、同じ方向を向いて食べた。

市内の給食1食当たりの統一単価は270円。事業は、各校で地元産消費メニューを考えてもらい、同単価のオーダー分を市教委が補助する。本年度はあと2回行う予定。

今回事業ができなかった7小中学校は時期をずらすなどして対応するという。（小畑誠）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。